
かわいそうな...

浅葉りな

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

かわいそうな…

【Nコード】

N2829C

【作者名】

浅葉りな

【あらすじ】

「春の嵐」「記憶喪失」「ヒマワリの種」というみつつの言葉を使う、というお題で書いたショートショート。

強い強い風が吹いてきて、彼は飛ばされてしまいました。春の嵐です。遭ってしまったら、おとなしく耐えるしかありません。雨と風がおさまってくれるまで、なにひとつできることはないのです。そうしてどこまでも飛ばされていくうち、彼はすっかり自分のことを忘れてしまったのでした。

なすすべもなく湿った地面に身を投げ出していた彼を見つけたのは、毛むくじやらの大きな生きものでした。体の割に小さな鼻とひげをぴくぴくさせながら生きものは言いました。

「こんなところでなにをしているんだい？」

「なにをしたらいいかわからないでいるんです。ぼくは記憶喪失なんです」

彼は、困っている自分に一番はじめに話しかけてくれたこの生きものを頼ろうと心に決めました。ほかにどうすることもできなかったのです。

「ああ、それはかわいそうに。でも大丈夫、きみがこれからどうしたらいいかはぼくが知っているからね。さあ、行こう」

言うなり、生きものは彼を抱えて歩き出しました。しばらくして、生きものは地面にあいた穴にもぐりました。そして立ち止まって言いました。

「きみの役目はね、ぼくに食べられることさ」

彼——ヒマワリの種は、なにか言うひまもなく、腹を減らした野ネズミに食べられてしまったのです。合掌。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2829c/>

かわいそうな...

2011年1月18日23時34分発行